

住民活動ふれあいまつり

ちょっとボランティア 募集！

ふれあいまつりの中の2つのイベントでボランティアを募ります。開催中、少しの時間でもいいので参加していただきませんか。

日時：10月19日（日）9：00～15：00

場所：ふれあいプラザさかえ

内容

●段ボールトンネル遊び

段ボールをガムテープで留め、子ども用のトンネルを作ります。ケガのないように遊びます。

●もったいない陶器市

集まった陶器を並べ、リユースするため自由に持って帰ってもらいます。

◆詳しいことは支援センターまでお問い合わせください。

TEL 0476-80-1733

◆ちょっとボランティア体験を受け入れてくれる団体を募集します。◆

ボランティアに興味があるけれど「自分がやりたい内容はあるのかな？」「実際どんなことをしているんだろう？」「体験できるのかな？」という方のために気軽に「ちょっと」ボランティア体験ができる団体を募集しています。

イベントや日頃の活動の中で少しの時間、関わられるようなメニューを考えてくれませんか？

地域への参加の一步になるようご協力をお願いします。

お役立ち情報調査隊

協働と協力

最近「協働」という言葉をよく耳にしませんか。

「協働」と「協力」どう違うのでしょうか。

「協力」は英語表記で「cooperation」で、2以上の個人や団体が力をあわせて事にあたることです。「協働」の英語表記は「collaboration」で、やはり2以上の個人や団体が関わることは同じですが、働く・汗をかくといった意味合いが強いのと、「念入りに丹精こめてつくること」を受け、両者が想いをこめて、働く・汗をかくこととなります。

協働を広辞苑で調べると「共同」「協同」「共働」と意味の近いものだけでも様々な単語が見られます。1976年発行の広辞苑には既に「協働」が登場し、「協力して働くこと」と訳が行記載されていました。【協力+働く=協働】という計算式から生み出された意味づけなのでしょう。

まちづくりや福祉・環境等で行政との協働事業が進んでいます。「協力」ではなく「協働」を使った意味は、2者のかかわりや汗のかき具合の程度、目的意識の共有が必要だったのではないかと思います

藤沢市市民活動推進センター情報誌引用

栄町でも「協働」に関する共通の理解を図るため「協働のまちづくりの手引き」を作成中です。近々、皆さんに公表し、活用していただく予定です。また、協働のまちづくりを更に進めていくための事業として、9月から「栄町まちづくり大学」を開校します。地域の暮らしを考えるきっかけになるまちづくり講座を受講しましょう。（広報さかえ8月号をごらんください）